

事前評価個表

整理番号	4
------	---

地域（地区）名	<small>きたかみがわちゅうりゅう</small> 北上川中流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	<small>はなまき</small> 花巻市ほか7市町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の南西部に位置しており、東は<small>きたかみこうち</small>北上高地、西は<small>おうう</small>奥羽山脈で秋田県と接し、中央に北上川流域の平坦部地を有する5市3町を包括する地域である。</p> <p>本地区の森林面積は353千ha（森林率67%）、対象民有林は203千ha（森林全体の58%）、うち人工林は96千ha（人工林率47%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、8～12 齢級が全体の61%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、間伐が必要な4～10 齢級の森林が37%を占めており、健全な森林を育成していく上でも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>また、二酸化炭素の吸収・固定などの森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、2050カーボンニュートラルの実現に向け、再造林や搬出間伐等の森林整備を促進する必要がある。</p> <p>このため、北上川中流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>本事業では、本計画に基づく再造林や搬出間伐等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を一体的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,760ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：14,488m 林道開設、改良</p> <p>総事業費：4,281,610千円（税抜き 3,892,373千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 3.81$</p> <p>（総便益（B）=21,259,036千円、総費用（C）=5,580,791千円）</p>
評価結果	<p>必要性：本地区は、間伐が必要な齢級の森林が約4割を占めており、森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには間伐等の森林施業を適切に行う必要があり、また、集約化を行い計画的な森林施業による林業採算性を確保する必要があることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、森林施業の集約化や路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により水源涵養や<small>かん</small>県土保全等の機能の確保に加え、林業専用道等の開設等により間伐材の搬出量の増加が期待されることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岩手県

地域(地区)名：きたかみかわちゅうりゅう
北上川中流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,002,890	
	流域貯水便益	1,378,821	
	水質浄化便益	5,332,153	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,358,132	
環境保全便益	炭素固定便益	1,609,814	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	98,778	
	木材利用増進便益	26,388	
	木材生産確保・増進便益	2,899,777	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	15,946	
	森林整備促進便益	1,249,451	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	282,102	
維持管理費縮減便益		4,784	
総 便 益 (B)		21,259,036	
総 費 用 (C)		5,580,791	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,259,036}{5,580,791} = 3.81$		

森林環境保全整備事業 北上川中流地域(岩手県)概要図



凡例	
	森林計画区界
	事業区域
	森林整備